

## 実践評価・実践研究系科目「模擬事例検討会」に向けての事例提出のご案内

この研修では限られた時間を最大限に活用するために、受講者の皆さんに中間課題（必須）に取り組んでもらいます。本日の研修内容等を参照の上、以下の要領で **8月12日まで**に提出ください。

\*愛知県会員で他県にてこのテーマを受講される方は、受講する県に提出ください。

他県会員が愛知県にて受講する場合は、愛知県での9月研修前に講師に届くように事務局にご相談ください。

\*なお、フォーマットは、**研修の翌週以降、愛知県社会福祉士会のホームページ上でダウンロードできます。**

(他県と一部異なります。他県会員の方は所属県士会で配布されている書式で構いません)

### 課題（様式 別紙①～④に記載すること）

ご自身の実践事例を一つ取り上げ、次に掲げる項目について、様式の別紙①②③④にまとめてください。

事例は、基礎研修Ⅲの実践事例演習Ⅱ（リワーク理論系科目）にて使用した事例でも問題ありません。

まとめるに際しては、利用者のプライバシー等に関して一定の倫理的配慮をお願いいたします。

#### 別紙① 事例の「フェイスシート」の内容を記載する。

「事例タイトル」・「氏名・年齢・住所」「相談内容」「家族構成」「生活状況」「生活歴」など

A4サイズ1枚程度にまとめてください。

キーワード（5つ）は、「認知症」「独居」「児童虐待」「発達障害」等、提出事例の特徴をあらわすものとしてください。

#### 別紙② 事例の「支援体制」「生活歴」を記載してください。

\*様式①②の内容は、指定のフォーマットで書きにくければ事例を把握しやすいように任意に設定しても問題ありません。

#### 別紙③ 事例の「経過記録」に当たる内容を記載してください。

記載量はA4サイズ3～4枚程度とし、事例の経過が分かるように援助内容等を抽出（抜粋）して作成してください。（テキストの「猫村さんの事例」や「本日の事例」など参考にすると良いです。）

時系列で「本人の状況・変化」「援助者の働きかけ」「分析・考察・所感」を簡潔に記載してください。

#### 別紙④ 事例の「全体所感・検討課題等」にあたる内容を記載してください。

\*様式の別紙①～④すべて口頭で説明した場合、30分程度の範囲に収まるような記載量にしてください。

\*事例を理解するに不可欠な資料がある場合は、必要に応じて添付してください。

\*手書きでもよいですが、必ずPDFに変換して、事務局からの案内に従ってご提出ください（難しい場合は、案内をご覧ください）。

\*参加者全員に提出していただきますが、研修当日に採用する事例は、数事例に限られます。あらかじめご了承ください。

\*提出事例のデータは消去します（紙面は返却します）。研修当日に使用した他の方の事例は、秘密保持の観点から、事後は必ず消去・廃棄してください。

●参考文献：事例をまとめるにあたって、改めて勉強したい方は以下の文献を参照ください。

岩間伸之著『援助を深める事例研究の方法（第2版）』ミネルヴァ書房 P161～184 2000円

奥川幸子著『身体知と言語』中央法規出版 P598～614 3200円

京都府介護支援専門員会編『主任介護支援専門員ハンドブック』中央法規 P144～165 3000円

●事例検討会の運営等については以下の資料が参考になります。

渡部律子編著『気づきの事例検討会』中央法規出版 2800円

横浜市社会福祉協議会『DVD 対人援助のための合同ケースカンファレンスの方法』2500円

中央法規出版『DVD 気づきの事例検討会』18900円